



ふれあい 放水路

1997
(平成9年)
第36号
3月



あの土の山は何？

三月に入ってから暖かい日が続き、神戸川の堤防では少しずつ菜の花が咲き始め、沿線のあちらこちらで農作業をする風景を見かけるようになりました。ここ神戸地区でも、畑を耕す農家の方の姿に、春の到来を感じられます。ところで、写真中央に見える土の山は何だと思えますか？境橋の上流側にあり、また、境島地区、芦渡地区の放水路事業用地内にも同じようなものがあるのです、ご覧になった方もいらっしやるかと思えます。

これは試験堤防で、将来の堤防と同じ場所に同じサイズで造ってあります。これからの放水路事業を円滑に進めていく上で、いろいろなデータを取るために使います。一度ご覧になれば、放水路事業の規模の大きさを改めて感じていただけるのではないのでしょうか。

進むB谷(狐廻谷)関連工事

現在、開削部で行われているB谷(狐廻谷)地区の平成8年度工事は、昨年11月に合同で実施された安全祈願祭以来、雨や雪などの影響を受けながらも順調に進んでいます。

また、C谷(大井谷)地区においても工事中の迂回路として使用される市道の拡幅工事が実施されるなど、放水路事業開削部の工事は、ますます盛んになっていきます。

位置図



放水路開削部右岸の管理用道路部分と、掘削土を運搬するための工事用道路部分を掘削しており、超大型機械による掘削、積込、運搬作業が続けられています。



大井谷池

①塩冶218号道路工事

B谷関連工事が進んでいくと市道の通行ができなくなるため、C谷を通っている市道塩冶218号線を迂回路として通行してもらう予定としていますが、現在の道路が狭いため拡幅工事を行っています。

②B谷掘削工事

③B谷防災調整池工事



残土処理場設置に伴い、工事区域に降った雨が一度に流れ出るのを防ぐための防災調整池を設置する工事で、道路沿いの山の掘削作業を実施中です。



パイロット道路

手前：菅沢

工事用の資機材を運搬するための道路を設置する工事で、今回はB谷からC谷の間を施工しています。これで半分地区とB谷の間がパイロット道路でつながりました。



工事着手前の山の状況

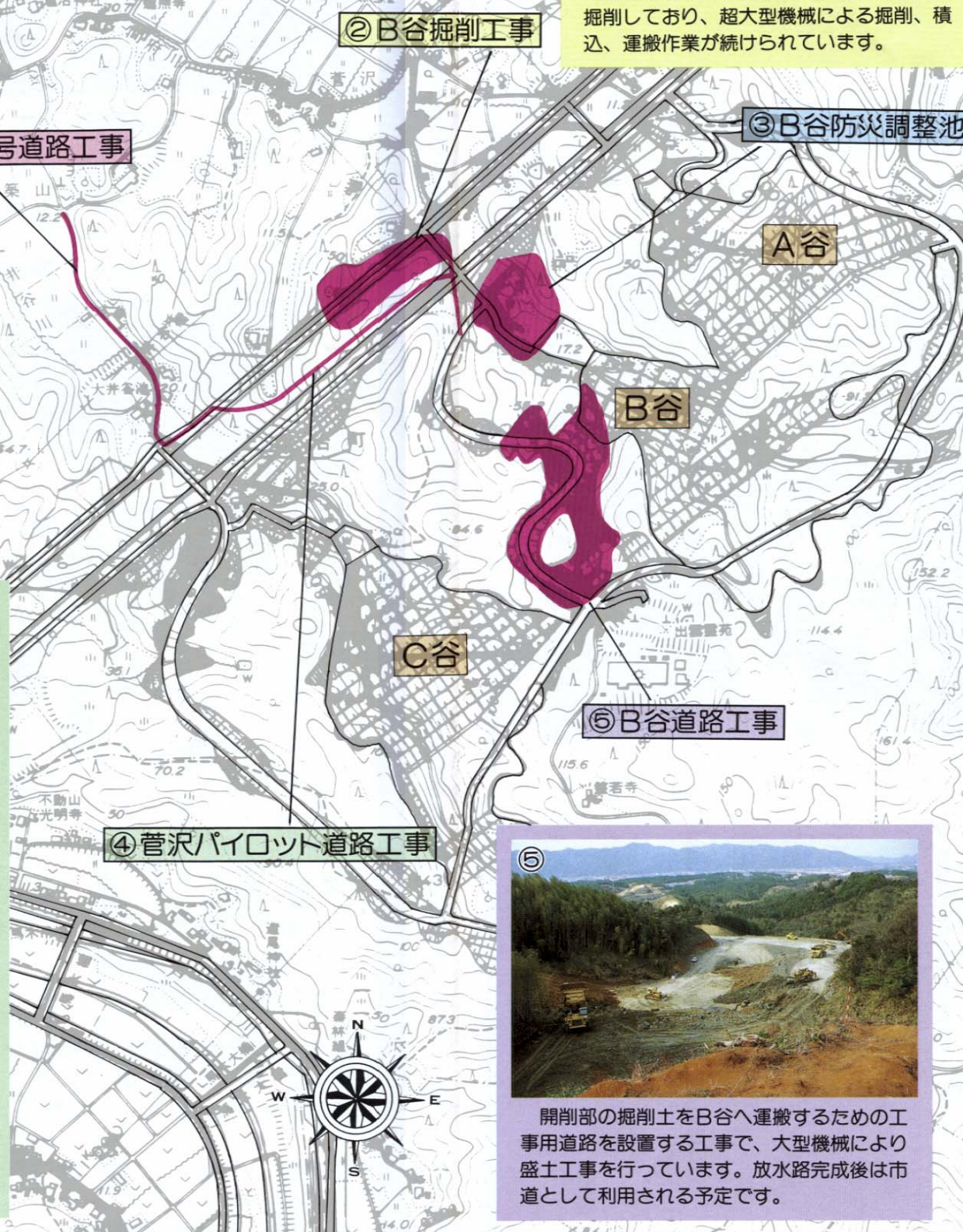
④菅沢パイロット道路工事



開削部の掘削土をB谷へ運搬するための工事用道路を設置する工事で、大型機械により盛土工事を行っています。放水路完成後は市道として利用される予定です。



B谷の工事現場手前に建設工事の内容を説明する広場があります。ここから開削部の工事の一部を見ることもできます。



ふれあい
放水路
通信

こんな橋に
なくあれ!

今、古志橋のたもとに縦一五m、横一〇・二mの巨大キャンパスに描かれた「未来の古志橋」の絵が飾られています。

これは「古志橋下部工事」のイメージアツプの一環として、古志幼稚園の園児三八名のみなさんに描いていただいたもので、絵の中の神戸川にはたくさんの魚が泳ぎ、花いっぱい川の河川敷には人々が楽しそうに集まっています。



飾られた絵をみて子供たちは「僕がこの魚をかいたよ。」「私はこの花!」とうれしそうに教えてくれました。

お近くを通られる時には、子供たちの夢あふれるこの絵をぜひご覧下さい。

神戸川ラインサミット

神戸川流域の五市町(出雲市、赤来町、頓原町、佐田町、大社町)が連携して地域振興を図ることを目的とした「第二回神戸川ラインサミット」(同実行委員会主催、建設省・島根県後援)が、二月五日、佐田町のゆかり館で開催されました。

今回は「人・自然・夢、そして感動」をテーマに、先日『神戸川探訪』を発売

された郷土史家の永田滋史さんによる基調講演や、「神戸川ラインランドの実現を期して」と題したパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、「神戸川のホームページをつくってどうか。」「河口付近にカヌーなどができる基地をつくってどうか。」「など、情報発信や観光・レジャーなどによる交流について意見交換がされました。



春から稼働
新草刈り機

放水路事業用地の除草作業に使用する「草刈り機」を購入しました。新年度から全体で約一〇〇万㎡ある除草面積のうち、約半分をこの機械が受け持ちます。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

斐伊川放水路の工事实施状況



工事名	業者名	工期
B谷築堤工事	りんかい建設(株)	自 H 9. 3. 8 至 H 9. 10. 31

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当